

はじめに



長崎県知事

平田 研

本県は、2つの世界文化遺産と4つの日本遺産、異国情緒あふれる街並み、美しい海岸線と離島に広がる自然、豊かな食文化など、特色ある多様な観光資源を有しています。こうした資源を活かし、訪れる人に期待を上回る体験を提供していくことは、選ばれる観光地であり続けるために欠かせない視点です。

近年、観光を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の進行、旅行スタイルの個人化やデジタル活用の進展、観光産業における人材不足などにより大きく変化しています。こうした状況を踏まえ、拡大するインバウンド需要を着実に取り込みながら、国際情勢などの外部要因に左右されにくい国内観光にも目を向け、観光客数の増加に加え、観光客の満足度の向上や再訪の促進、滞在時間の延長といった質の向上にも重点を置き、観光による消費の拡大を持続的に図っていくことが重要です。

本計画では、将来像として、「観光客の心をつかみ、選ばれる観光立県 NAGASAKI ～歴史と文化を未来へつなぎ、世界と心をつなぐ、笑顔あふれる長崎へ～」を掲げ、観光産業が地域経済を持続的に支える存在として成長していくため、住む人・働く人・訪れる人の「三方よし」の考え方を大切にしながら、持続可能な観光の実現を目指します。

将来像の実現に向けて、本計画では、観光消費額の拡大を最上位の目標に据え、その実現を通じて、地域経済の活性化と、持続可能な観光の好循環につなげていきます。

観光は、行政や観光事業者だけでなく、県民一人ひとりが担い手となって支えられるものです。本計画の推進にあたっては、県、市町、観光関係事業者、観光振興団体、県民の皆様が、それぞれの立場で役割を果たし、力を合わせて取り組んでいくことが不可欠です。こうした考えのもと、本計画は、関係者の取組をつなぎ、観光振興に向けた共通の拠り所となるよう策定いたしました。

最後に、本計画の策定に際しまして、ご尽力を賜りました県議会、県観光審議会並びに市町の皆様をはじめ、パブリックコメントや地域別意見交換会等で貴重なご意見を賜りました多くの皆様に、厚くお礼申し上げます。

令和8年3月